

20xx 年日本ゲノム微生物学会研究奨励賞候補者推薦について

下記の日本ゲノム微生物学会研究奨励賞要綱に従い、20xx 年日本ゲノム微生物学会研究奨励賞候補者の推薦を受け付けます。推薦書に必要事項を記入の上、

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 3-11-15
UEDA ビル 6F 株式会社クバプロ内
日本ゲノム微生物学会事務局 宛

に郵送してください。締め切りは 20xx 年 xx 月 xx 日です (消印有効)。また、今回の選考委員は、AA aa、BB bb、CC cc、DD dd、EE ee 会員です。

日本ゲノム微生物学会研究奨励賞 要綱 (案)

(目的)

ゲノム微生物学の推進と、微生物の新しい研究分野に従事する研究者の育成を目的に、若手研究者による優れた研究を顕彰する。

(賞の選考)

1. 受賞資格

奨励賞(S):ゲノム情報を基盤にした微生物の普遍性と多様性に関する基礎的研究、または、ゲノム情報を基盤にした微生物機能の医療、産業、環境に係る応用的研究に関して、優れた研究を活発に行い、更なる研究の発展が期待される 42 歳未満 (総会開催時の年齢) の会員、1 名を顕彰する。

奨励賞(J):ゲノム情報を基盤にした微生物の普遍性と多様性に関する基礎的研究、または、ゲノム情報を基盤にした微生物機能の医療、産業、環境に係る応用的研究に関して、優れた研究を行い、今後新たな研究の方向性を示す研究を行う可能性がある 33 歳未満 (総会開催時の年齢) の会員、1～2 名を顕彰する。

2. 選考委員会

学会長は、評議員会の承認を得た上で、会員の中から選考委員5名を委嘱する。選考委員長は選考委員の互選により決定し、選考委員の氏名は公開とする。

3. 選考方法

会員から推薦された、あるいは、自薦の候補者について選考委員が慎重に審査を行い、受賞者を決定する。選考日程は、会長が、選考委員長と協議の上で決定し、会員に周知する。

(顕彰方法)

年会において表彰（賞状と副賞）し、受賞講演を行う。

20xx 年日本ゲノム微生物学会研究奨励賞候補者推薦書

(自薦の場合もこの用紙を使ってください。)

20xx 年 月 日

推 薦 者		(自薦の場合、職名、連絡先は不要)
(ふりがな) 氏 名		
職 名		
連絡先	〒 TEL : FAX : E-mail :	

受 賞 候 補 者	
(ふりがな) 氏 名	(西暦) 年 月 日生
職 名	
連絡先	〒 TEL : FAX : E-mail :

【略 歴】

(大学入学以降の学歴・職歴を記入して下さい)

【発表論文リスト】

- 受賞候補者が **First Author** あるいは **Correspondence Author**、および同等の貢献が明記されているものに限ります。また、日本ゲノム微生物学会研究奨励賞への推薦根拠とすることについて、共著者全員の同意を取っておいてください。推薦にあたり、同意書の提出は必要ありません。
- 記載に関しては、発表年の古い順に、原著論文とその他（総説等）に区分し、査読のない論文については【査読なし】と記載して下さい。
- 論文の **PDF** を電子媒体で添付して下さい。
- 奨励賞(S)に応募する場合は、参考論文等 [受賞候補者が **First Author** ではないが、受賞候補者が直接研究指導を行った大学院生の研究論文等や主要な役割を果たした研究論文等]がある場合には、そのリスト、別刷り（**PDF** を電子媒体で添付）、およびその内容についての簡潔な説明（様式自由：受賞候補者が果たした役割についても記載）を添付して下さい。

【業績説明】

(主要論文に関する説明を、研究の意義や特色などがわかるように、また、各論文との対応が分かるように、受賞候補者本人が記述してください。A4用紙2枚まで。12ポイントのフォントを使用してください。奨励賞(S)に応募する場合は、参考論文の内容についても、論文との対応が分かる形で記載することも可能です。)

【業績説明（つづき）】